

## 東京都に特別支援学校の増設を求める意見書

2007年から特別支援教育がスタートして、4年目になる。発達障がいを含む障がいのある児童・生徒の教育の重要性が広く理解されるようになり、かつての養護学校が特別支援学校に変わって、さらにニーズが高まっている。ところが、東京都は増加する児童・生徒の数に見合うだけの特別支援学校の増設や充実を十分行ってこなかった。

2010年度の特別支援学校の届け出学級数は、2058教室だったが、施設の教室数は1743室、しかもそのうち特別教室などの転用が378教室と、実際は693室も不足していることになる。

町田市内の町田の丘学園においても、児童生徒数が327人、学級数は75学級にもなり、教室の不足は深刻である。一つの教室をカーテンで仕切り2教室として使用したり、機能訓練室など特別教室も転用して、何とか普通教室の数は確保されているが、学校に設置を定められている図書室まで教室に転用され、廊下の隅に図書コーナーを設置しなければならないという状況である。

市内の小中学校の特別支援学級に通う児童・生徒も増加しており、特別支援学校の中学部や高等部の入学者数はさらに増えることは確実である。

東京都は、現在の特別支援学校の「すし詰め」状態を解消し、障がいのある児童・生徒の教育環境を整えるために、特別支援学校の増設を行うよう、強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。